

# 豊中の未来を描こう！！

発行 2024 年 5 月

かんばんこういちろう

## 神原宏一郎の つながり通信

～生活・社会そして人・・・すべては政治とつながっている～

VOL. 211

気軽に  
ご意見やご感想を  
お聞かせ下さい。

豊中市議会議員  
無所属



## 関心・期待感・信頼感を抱く政治へ

## 2024年度予算審議！！

### 小学校の開門時間の繰り上げ

～児童の安全・安心の確保を最優先に！！～

Q. 開門時間を7時に繰り上げる理由や目的、ねらいは？

A. 校内で子どもたちが安全安心に過ごせる場所を提供し、共働き・子育てを応援、保護者の多様な働き方に対応する。

Q. 登校中の児童の安全面のリスクは想定されないのか？

A. 登校中の安全確保は、保護者の責任のもとにあると考えており、保護者の付き添いのもとでの登校を想定している。

Q. 本事業の実施により、教職員や PTA、地域の方々の負担が増えることは無いのか？

A. 教職員や PTA、地域の方に新たに負担を強いるものではない。本事業に伴う事故やトラブルが生じた場合、応急手当や保護者、市教委への連絡等は見守り員が初期対応し、市教委が見守り員からの相談を聞き取りながら対応する。

Q. 民間の見守り員を各校2人配置で大丈夫なのか？本事業で児童はどこで、どのように過ごすのか？

A. 見守り員2人で、ある程度の児童数には対応できると考えている。本事業を利用する児童は、学校体育館等で、自学自習や読書、タブレット活用などで過ごすことを想定。

Q. 見守り員2人で対応可能な児童数の想定は？万一、見守り員が病気や怪我等により、急に出勤ができなくなった場合などは、どのように対応するのか？

A. 30人～50人程度であれば対応できると考えている。見守り員が急に出勤できなくなった場合の代替要員の確保については、委託業者が対応する。

★意見★

本事業を利用する全ての子どもたちの安全安心の確保を最優先事項として、様々な課題を着実かつ確実に改善するとともに、実態に合わせて柔軟に見直しを図りながら、事業を進めるべき！！

### 民間プール施設を活用した水泳授業

～水泳指導環境の確保、充実を！！～

Q. 民間プール施設を活用した水泳指導とは？

A. 民間のスイミングスクールやフィットネスクラブの施設を利用し、水泳授業中は教職員と民間業者のインストラクターが協力して指導にあたる。指導時間は、1回2コマの授業で、のべ6回の実施を想定。2024年度は、克明小と豊島北小の2校で実施予定。

Q. 将来的に、学校のプールは解体する予定なのか？中学校の部活動の練習等での活用も検討しているのか？

A. 民間プールを利用する学校のプールは、学校改修時等に解体し、運動場拡張等の有効活用を想定。中学校の民間プールの利用は、部活動の利用を含め、慎重に検討する。

★要望★

学校ごとに状況や環境が異なると思うが、可能な限り、水泳指導環境の確保、充実につなげて欲しい！！

### 学びの多様化学校(不登校特例校)の設置

～子どもたちの多様性に柔軟に対応を！！～

Q. 学びの多様化学校を本市に設置するねらいは？

A. 不登校児童生徒は増加傾向にあり、学習意欲はありながらも在籍校には通いたくても通うことができない不登校の子どもたちのための新たな学びの場として創ることとなった。

Q. 受け入れ定員と必要となる教職員等の人員数は？

A. 定員は一学年20～25名で、専門家等によるチームが、学びの多様化学校への転籍を検討・判定することを想定。教職員は、中学校の標準定数と、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカーなど専門職の配置を考えている。

★意見★

在籍校には通いたくても通うことができない子どもたちの新たな学びの場として機能するよう努めて欲しい。

## AIドリルの導入

～学びの個別最適化の推進を!!～

Q. AI ドリルの対象学年や教科、活用方法は？

A. 対象学年は、小1から中3の全学年、対象教科は、国語、算数・数学、理科、社会、英語の5教科を予定。活用は、授業中や朝学習、放課後の学習、家庭学習などを想定。

★意見★ 

AI ドリルの導入で、児童生徒の基礎学力や学習習慣の定着が進むとともに、児童生徒の自学自習の意欲や興味関心が高まり、学力向上につながることを期待する。

## 教育ダッシュボードの構築

～学習指導や授業改善にデータの活用を!!～

Q. 教育データを一元化することのだが、具体的には、どのようなデータを一元化するのか？

A. 学習進度や学習状況に関するデータ、出席状況や学校生活のデータ、児童生徒向けのアンケート情報などを想定。

Q. 教育ダッシュボードの活用方法は？

A. 様々な教育データを可視化、分析することで、データにもとづく指導を効果的に行う。よりきめ細かい学習指導や授業改善に活かすとともに、学級・学校運営の充実を図る。

★要望★

家庭環境に関するデータなど、少しでも多くのデータの一元化に努めて欲しい。また、安全かつ適切なデータ管理、セキュリティ対策が大前提だが、外部の教育機関や民間事業者等の知見やノウハウも活用し、児童生徒の学力向上、生活指導の充実につなげて欲しい。

## きょうだい同園入所の推進

～保育所等の送迎負担の軽減を!!～

Q. きょうだいで別々の就学前施設への通所を余儀なくされている世帯数は？また、きょうだい同園入所を進める策は？

A. 令和5年4月選考では、きょうだいが別々の施設に入所することとなった割合は約5割。

新年度から、「きょうだい同園入所」は、加算要件を見直す。この見直して、きょうだいが 同じ施設に入所できる割合が、約7割に上がることを見込む。

★意見★

きょうだい同園入所が進み、送迎等の負担軽減が図られることを期待する。

## こども誰でも通園制度

～本格実施に向けて課題整理を!!～

Q. 本市の保育所は、待機児童が生じるなど、定員いっぱいでの利用が多い。一方、本事業の対象は0歳6か月から満3歳未満の未就園児だが、幼稚園では、受入可能な施設が限られるのではないかと？

A. 幼稚園が新たに0～2歳児を受け入れる場合、調理機能等の設備基準を満たすための整備や乳児の保育経験のある職員が少ないことなどの課題が想定される。

Q. 事業の対象となる児童数は？

A. 令和5年4月1日現在、0歳6か月から満3歳未満の児童数は**8,057**人で、本事業の対象は**4,422**人。

★意見★

令和8年度からの本格実施に向けて、様々な角度、視点から課題の洗い出しを行い、国に随時、問題提起すると共に、改善を求めていくべき!!

## 日本版 DBS の導入

～子どもを性犯罪から守る取り組みを!!～

Q. 教育委員会や教育現場では、子どもを性犯罪から守るため、どのような対策や取り組みをしているのか？

A. 教員の採用の前に、文科省が運用するわいせつ行為で懲戒免職となった教員が登載されたデータベースを活用し、データベース登載者を採用しないようにしている。

Q. 性犯罪とまではいなくても、性加害行為で懲戒処分の対象となった職員に対しても同様の対応や仕組みが必要ではないかと？

A. 性加害行為が発生した場合、当該教員に一定期間の自宅謹慎を命じることが可能だが、懲戒免職に至らない場合は、長期間の研修・指導を行い再発防止に努める。

Q. 採用時に、性犯罪や性加害をした場合は、懲戒免職とするなどの取り決めを設けることはできないか？

A. 地方公務員法に「法律で定める事由による場合でなければ、懲戒処分を受けることがない」と定められているため、本人との取り決めを根拠に懲戒処分は行えない。

★要望★

子どもたちが安心して学校に通えるため、教員など子どもたちに関わる者による児童生徒に対する性加害行為等に対する厳格な姿勢を示し、対応するなど、より積極的に取り組んで欲しい。

## 神原宏一郎事務所(前向きひろば)

〒560-0021 豊中市本町 3-1-20 エルビル 2 階  
TEL&FAX:6854-5664

平日(土・日祝日は除く)の10時から17時はスタッフがおります。

young\_spiritjp@yahoo.co.jp

http://positive-square.sakura.ne.jp/

※この通信物は、政務活動費を使用し発行しています。

発行元 大阪維新の会・無所属議員団(神原所属会派)

〒561-8501 豊中市中桜塚 3-1-1 ☎6858-2525(代表)

